

6 人権問題に関する自由意見

問3 1 日ごろ人権問題について考えていることや気付いたことを自由にお書きください。

日ごろ人権問題について考えていることや気付いたことについて、合計 240 件の自由意見の記載があり、各意見内容を基に、下表のとおり整理・集計を行った。

■自由意見の分類

分 類	内 容	件 数	
人権問題全般	社会全体に対する意見	28	147
	人権意識等に対する意見	73	
	自分自身に関する事	18	
	行政に対する意見	17	
	教育に関する意見	11	
同和問題に関する事	人権・同和教育の重要性等	32	
女性（男女）に関する事	女性に対する固定的な見方の解消、 男女の特性を生かした役割分担等	7	
子どもに関する事	子どもが安心して暮らせる社会の実現、 大人の子どもに対する人権意識等	7	
高齢者に関する事	高齢者の人権擁護	6	
障がい者に関する事	障がい者に対する正しい理解（難病、精神障がいを含む）、 障がい者が参加できる社会づくり等	8	
外国人に関する事	外国人の就労環境、外国人の人権擁護等	3	
インターネットによる人権侵害等に関する事	インターネットを悪用した犯罪、人権侵害	4	
犯罪被害者に関する事	犯罪被害者の人権擁護	1	
意識調査に関する事	意識調査の必要性、意識調査の内容等	16	
LGBT に関する事	LGBT に対する正しい理解等	2	
ハンセン病に関する事	ハンセン病回復者の人権擁護等	1	
	そ の 他	6	
	合 計	240	

【主な自由意見】

○人権問題全般

（社会全体に対する意見）

・人間尊重の精神、人として人を尊い自分も大切に。家庭の大切さ、愛情をもって子どもを育て、大事な時には叱り、善悪の判断のできる子に育てる。人としての道徳心。人の不幸の上に自分の幸福を考えるような人間を作らないよう、人との関わり、地域との関わり、ボランティア精神を大切に。自分も周りの人に支えてもらっているし、自分も周りに対してできることをしていこうと思っている。

・人々が気遣いが出て、出来る限り思いやりのある社会になってほしいです。

・米国では、人権を尊重しない指導者が誕生した。このことは、社会の格差の拡大（経済格差）が原因である。インターネットや機械化が進めば、それを活用できる者と利用できない者との格差は増大する。本能的に、人間には人との差の中で、生活し存在しているこのため、公の場にある者や、社会的、経済的に優位にある者は、努めて、格差をなくする様な方策を執る必要がある。残念ながら、社会の風潮では、差別化を助長することが目立つようになったと感じる。極端ではあるが、他者と比較して競争させたり、学力を向上させることは問題である。「プライドを持って」「日本人は優れている」「日本は、良い所」等は、他人を下に置く考えを醸成することになる。

・地域の交流（自治会）が気薄になり、他人に無関心、家庭でのしつけ、道徳について子どもを育てる環境が無くなって来た感じがする。社会全体が経済中心になり、人の心に余裕が無くなり、自己中心的な人が増えていると思います。これでは人権について無関心なのは、必然な事です。平等な社会、人権を大切に作る社会にするには国の強力な政策が必要ではないかと考えます。今のままでは何年経っても良くはならない。悪化すると思います。

（人権意識等に対する意見）

・私は最近、人権に関して特に問題がないので、このアンケートが届いて、改めて考えさせられました。差別を受け、大変な思いで生活している人達の為にも、正しい情報と知識が必要だと思いました。

・単なる噂を信じるのではなく、一人一人が少しでも人権問題について耳を傾け、理解することが大切である。ゆとりの時間が必要である。社会、家庭環境の見直しが大いに関係しているのではないかとと思われる。

・そもそも「人権」「問題」と考えている視点が差別的に感じる。高齢者／障がい者「体験」という考え自体がナンセンス。それぞれが一つの個性、高齢者になるということはこれから私たちが通っていく道なのだから、特別視せず、当たり前思いやりができる世の中を目指す方が良いのでは？毎回、このアンケートを答えていて思いますが。

・細かいことを言えば、日々の暮らしの中でほとんどが人権問題にあたると思う。（教育・職場等）事実を言うとヘイトスピーチと言われる。不法滞在の外国人や、凶悪犯罪を犯した人間に人権は、あるのか？真面目に生活している人間と同じなのか？他人の人権を犯す人間の人権も尊重しないとイケないのだろうか？

（自分自身に関する事）

・自分は関係ないと思うのではなく、いつか自分や自分の大事な人が当事者になるかもしれないと、常に頭において柔軟な考え方を心がけるようにしている。

・私は接客業をしていますが、たまにお客様から不当な扱いを受ける事があります。「お前の両親はろくでもない」とまで言われた事があります。その事はたぶん一生忘れられないと思います。ちょっとした言動が人をどれだけ傷つけるかをもっと知ってほしいと思いました。

（行政に対する意見）

・人権問題は、自身に直接関わらないとなかなか深く理解できない問題と感じます。しかしながら日頃の啓発活動は、重要な取組みとして継続して活動すべき事と感じます。また、いざ自身が関わった際の相談窓口の充実は、とても重要だと思います。

・社会的立場が異なる者同士で完全な平等はあり得ないと考えている。どこまでが「区別」でどこからが「差別」なのか、線引きが必要と考えている。ただし、民主主義社会である以上本統計のような統計学的調査をへて、行政が公的な見解を地域に示すことが、最も「差別への理解を深める」ことにつながるのではないかと期待している。

・何に対しても、すぐに国がお金を出すから、平等ではなくなり、差別につながっているのでは？と少し思う部分もあります。

(教育に関する意見)

・子どもの時から教育が大切と思います。思いやりの心、誰かの役に立てる喜びを持てる人に育ててほしいです。

・人権問題について、学校等での教育が大切であると思うが、同時に大人への教育（啓発）にも力を入れるべきではないか。親世代の者から不適切な発言を聞くことが多いのが気になる。

○同和問題に関すること

・同和問題については「えせ同和行為」等同和地区を傷つけるような行為をよく防止してほしい。

・同和問題をはじめ、具体的な事例、正しい情報が周知されていない。なぜ正しい情報、教育が行われないのに問題であるという認識があるのか。このアンケート自体何が目的で、今後どうしたいのか不明である。はれものを触るような教育、情報の開示が間違っているのではないか？

○女性（男女）に関すること

・シングルマザーで朝から夜まで働いていますが、男性に比べ子どもの行事で休まなければならない、子どもを犠牲にしてまで働かないといけない現実。女性がもっと収入が増え、子どもの事で休んでも働きやすい環境にしてほしい。セクシュアル・ハラスメントやパワー・ハラスメントについても十分な細かな指標をつくってほしい。「精神的苦痛」では具体的な内容は見えにくい、HIV（エイズウイルス）感染者については関わる事が多かったが、主治医の専門が分かるため受診時間や曜日で「HIVの人の時間」と言われていた。他の患者も分かるような環境はもう少し配慮してあげたらいいと思う事もありました。ハンセン病も同様で待ち合いにただでじろじろ見られてかわいそうでした。「正しい知識」をつけてもその方達にどれだけの人が普通に接する事ができるか疑問もあります。

○子どもに関すること

・子どものいじめがなくならないのは、大人が同じ事をしているからなのだから、私たち大人が子どもの見本となるようにしなくてはいけないと思う。世の中には色々な人がいるけど差別するのではなくその人の事を理解するように努力すべきだと思う。

・人権は守られるべきだとは思いますが、子育てをしていて、不満に思うことがある。母子家庭や低所得者の子どもは学費補助や奨学金がもらえている。羨ましいです。親の収入で、子どもの進学が断念せざる得ないことがあっても、当然ではないでしょうか。弱者保護のようなことを言い過ぎて、普通の人々がものすごく不利益をこうむっている気がします。

○高齢者に関すること

・後期高齢者老人の安全安心出来る社会を終戦後70年以上平和憲法を守り、平和な時代を更に続けて参る限りです。楽しく愉快な人権尊重社会を実現する元素と思います。よろしくご指導願ひ上げます。

・高齢者が多くなり、就職差別、身体的・心理的虐待を多く聞きます。特に経済的に介護施設に入れたい人の支援を強化した方がよいと思います。

・高齢者をもっと大事にしてくださいお願い致します。孤独で生活するのに一生懸命です。私の周りに大勢居ます。少ない年金で必死で生きています。

○障がい者に関すること

・どのような障がいがある子ども、大人も、自分が参加したい習い事や集會に、何の心配もなく、一人で参加できるようになれば良いと日々思っている。

・知的障がい者の家族(兄弟)が本人の障がい者年金を使って生活しているが、本人の人権が守られていないと思うが、実状を改善するのはなかなか難しいようだ。

○外国人に関すること

・外国人がもっと暮らしやすい環境をつくり、日本や香川県をよりよく知ってもらいたい。

・外国人が増えてここは日本だろうかと思う場がテレビ等で観られ、戸惑います。旅行者ならある程度の滞在で済みますが、古い住宅など集合した様になると寄りつきにくいと感じます。住まれることに抵抗感を持ってしまい、人権問題に関わるとは思うのですが、増え過ぎるのはあまり良いとは思えずにいます。

○インターネットによる人権侵害に関すること

・インターネットによる人権侵害や、ヘイトスピーチ等、他の人の気持ちを何も思わないようなニュースが多く、残念に思っている。

○犯罪被害者に関すること

・事件があった場合よく犯罪者の人権や権利を主張しますが、被害者の人権の主張が語られないのが常々不思議に思う。

○意識調査に関すること

・日頃、人権問題について特に関心なく過ごしていましたが、今回、意識調査に記入することになり内容を読んで少しは身近に思えるようになりました。今後、人権に関する記事等に気を留めて読みたいと、思いました。

・この度の調査により、人権に関する色々な事、問題がある事が分かるようになりました。

・まったくの税金の無駄です。こんなことのために永年税金を払っているわけではないです。民間に勤めていて、そんなことをしている暇等はないです。こんな意味のないことにお金を使うのは、止めてもらいたい。生活は自分で守るしかないです。こんなことに熱心にお金を使うなら、もう今後、ふるさと納税で違う自治体に納税します。

○LGBTに関すること

・LGBTについてまだ認知度が低い。ハンセン病回復者や、身体障がい者は、外見で判断できるが、LGBTは、見た目で見えない分、知らず知らずに差別しているのではないかと思う。

○ハンセン病に関すること

・定期的に、大島青松園を訪問させて頂いています。入居者の方にとって、最後のお一人になるまで、今と同じレベルの介護・看護体制が守られるのか、不安のようです。国と高松市が連携して大島青松園に関する方針を確立して下さい、不安を解消して下さい、と願います。